



デジタル経済時代の五つの変化と対応策



武 連峰

IDC中国-副総裁兼首席アナリスト

中国商務部サービスアウトソーシング研究センター-専門家顧問

中国開発区協会智慧パーク委員会-専門家メンバー

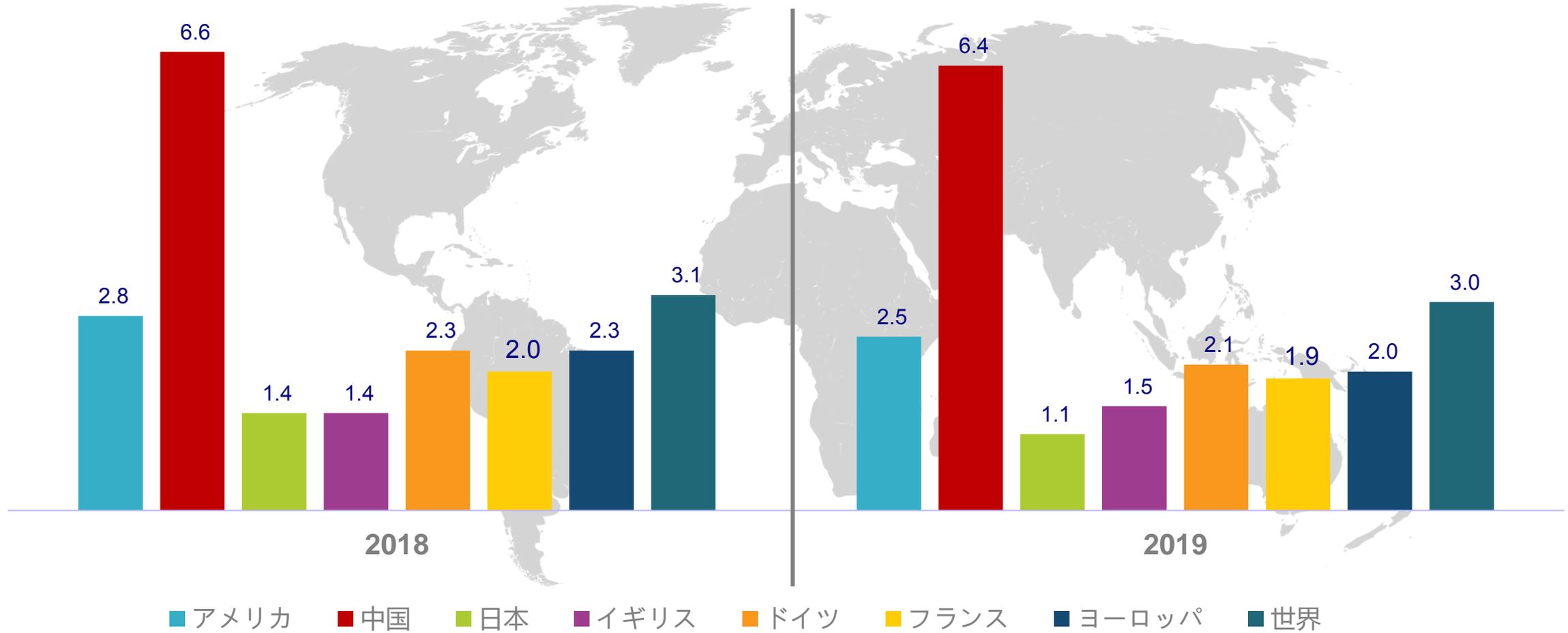
中国情報技術及びサービスアウトソーシング産業連盟専門家メンバー



マクロ経済と総体ICT市場について

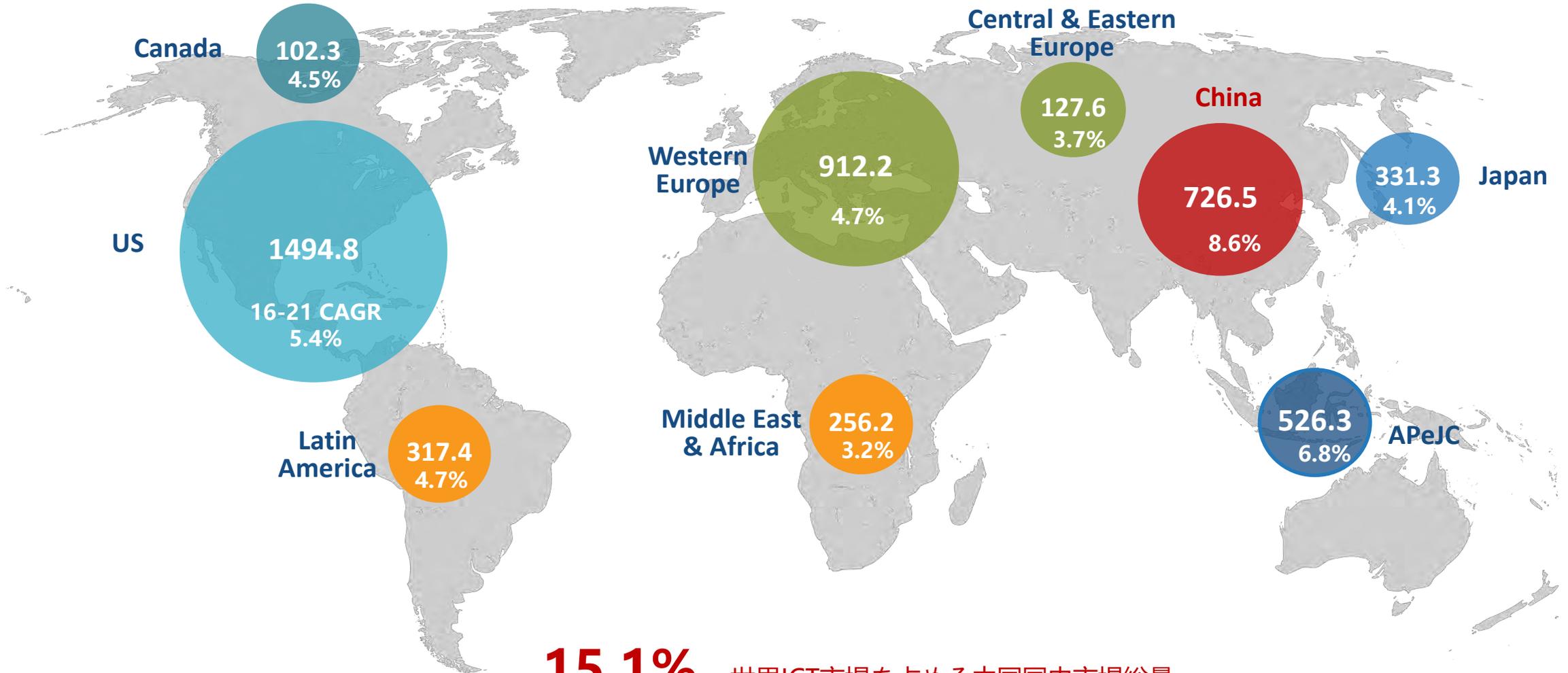
世界における主要国家経済の安定推移

主要国家2018 - 2019年GDP推移予測 (%)



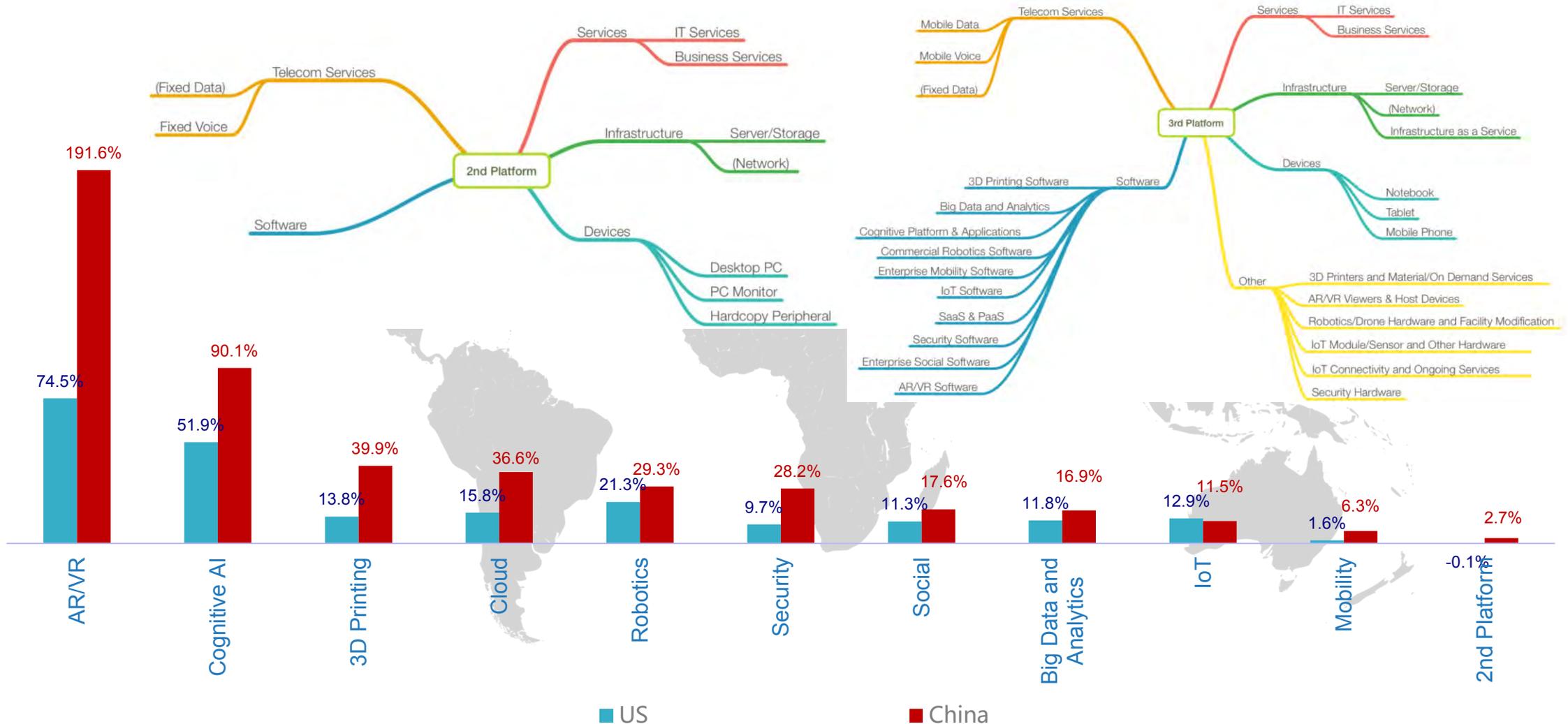
世界及び中国ICT市場規模及び増長 (第三プラットフォーム及びイノベーション加速器技術を含む)

2018世界市場規模(US\$B): 4.8兆ドル (16-21 CAGR: 5.6%)



15.1%: 世界ICT市場を占める中国国内市場総量

2018年ICT市場の主要領域における米中比較



第三のプラットフォーム技術は第二章に入り



第1章 |

2007

Experimentation

- クラウド、ビッグデータ、移動モバイル、社交
- 会社競争、独立のイノベーション



第2章 | 2015+

Multiplied innovation

- AI、超機敏応用、ブロックチェーン
- プラットフォーム及び生態による競争、倍増イノベーション



第3章 | 2022+

Autonomy

- 新しい計算モデル構築、人間—機械融合、分散式サービス
- AIイノベーション

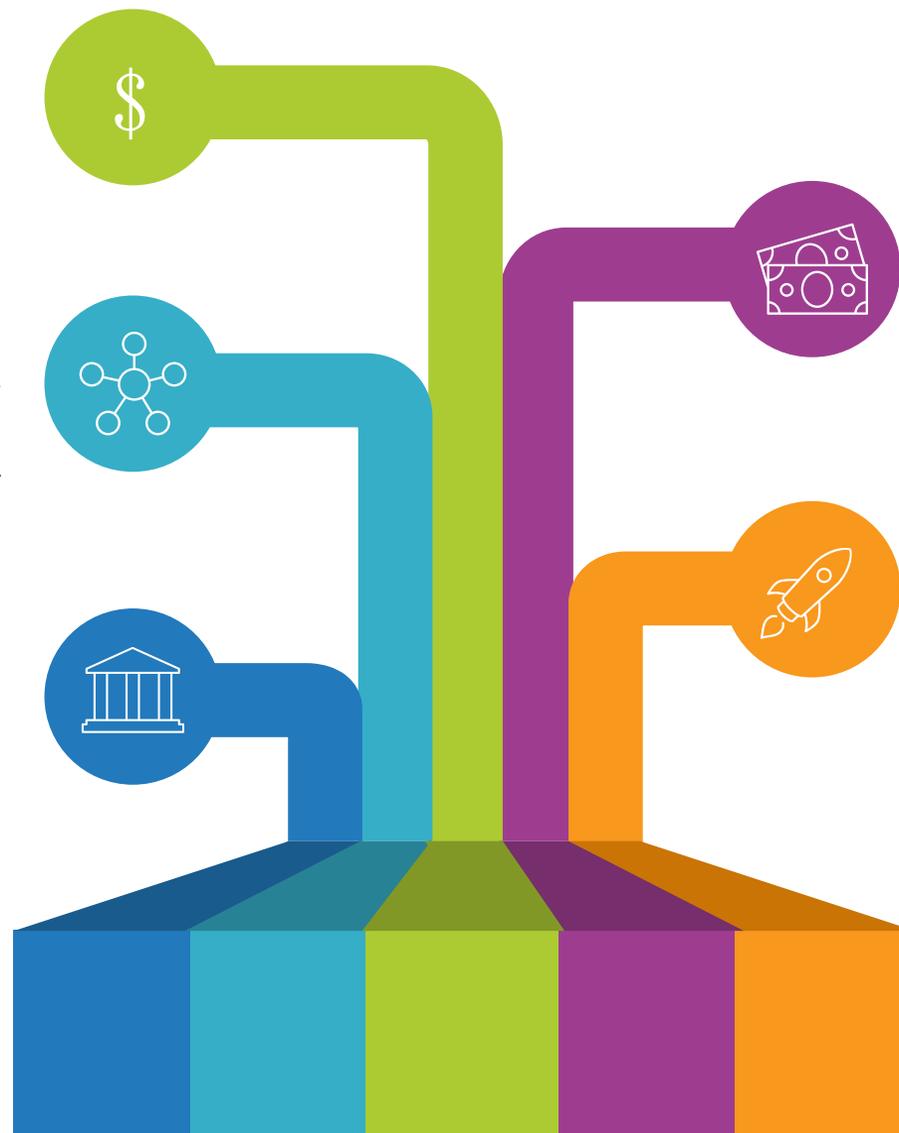


デジタル経済は爆発の臨界点に

2017年、デジタル化は65%の企業に新技術及び措置をもたらした。

IDCの予測によれば、2021年になれば、世界経済の50%はデジタル化になり、中国経済は55%デジタルに達す。

主のチャレンジ：いかに組織のデジタル化を実施する。



2020年に、投資者はプラットフォーム/生態系、データ価値及び顧客参与をすべて企業の評価基準にする傾向がある。

緊迫性：デジタル化への転換はICT予算の増加をもたらす。

デジタル経済時代の五つの変化



政策変化



技術変化



競合変化



商業変化

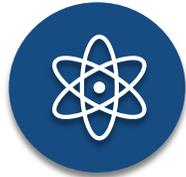


ユーザ変化

デジタル経済時代の変化の一つ-政策変化



未来政策：中国の未来政策に五つの面に注目



科技牽引

五つの領域及び21種類の重大プロジェクト



バーチャルとリアルと並行

近代経済体系を建設する際に、実体経済に力点を置き、製造業の発展を促進し、製造業の強国を推進しながら、インターネット、ビッグデータ、AIと実体経済との融合を深化する。



対外開放

海南島自由港、11カ所の自由貿易区、一带一路の沿線、世界の第11位の総体経済規模エリアである粵港澳大湾エリアは中国の対外開放のコア地域になる



自主性とコントロール

自主性とコントロールとはグローバル企業に打撃を与える目的でなく、中国の臨む環境に対応する長期戦略であり、国家安全を強化するとともに、市場と技術との交換を実現し、中国企業の世界進出をサポートし、貿易戦争に対応する。



人材戦略

人材は都市発展の基礎であり、産業イノベーションのカギである。中国各大都市の人材争奪戦はますます激しくなり、続くだろう。これは毎年の820万人の大学卒業生の就職プレッシャーを解消し、中国の都市の変貌につながる。

政策変化に対する対応策



政策の内容を深く理解し、フォローする
政策背景、目標、時間、資金、影響



会社製品とサービス戦略の方向をタイムリーに更新する
調整が必要かどうか、いつ調整する、どのように調整する



**標準制の制定を目指す/政策の詳細を制定
また産業連盟の枠を作る**
政策を理解し、影響のアドバイスを提出し、
ビジネスチャンスを探す

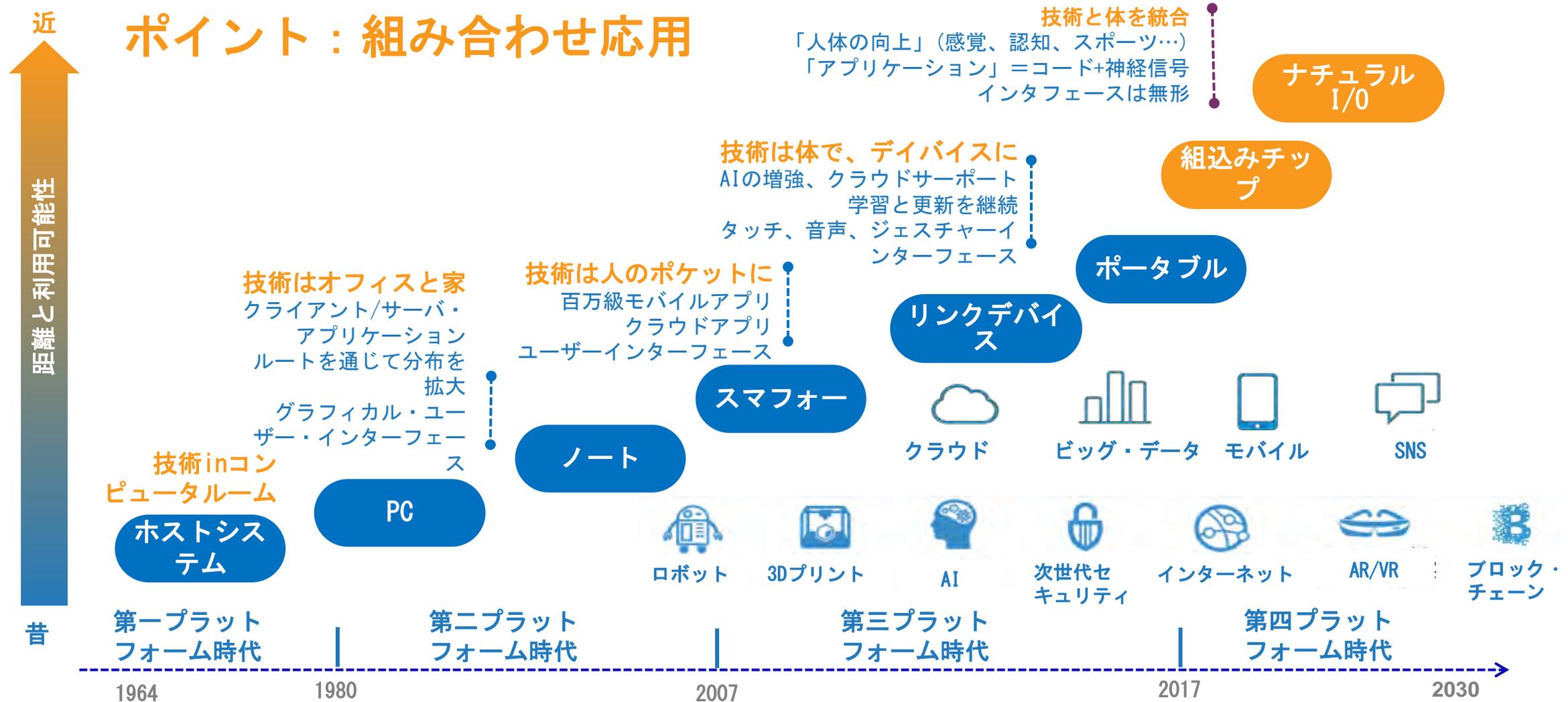


政府：地方の特色に合った産業発展政策を制定する

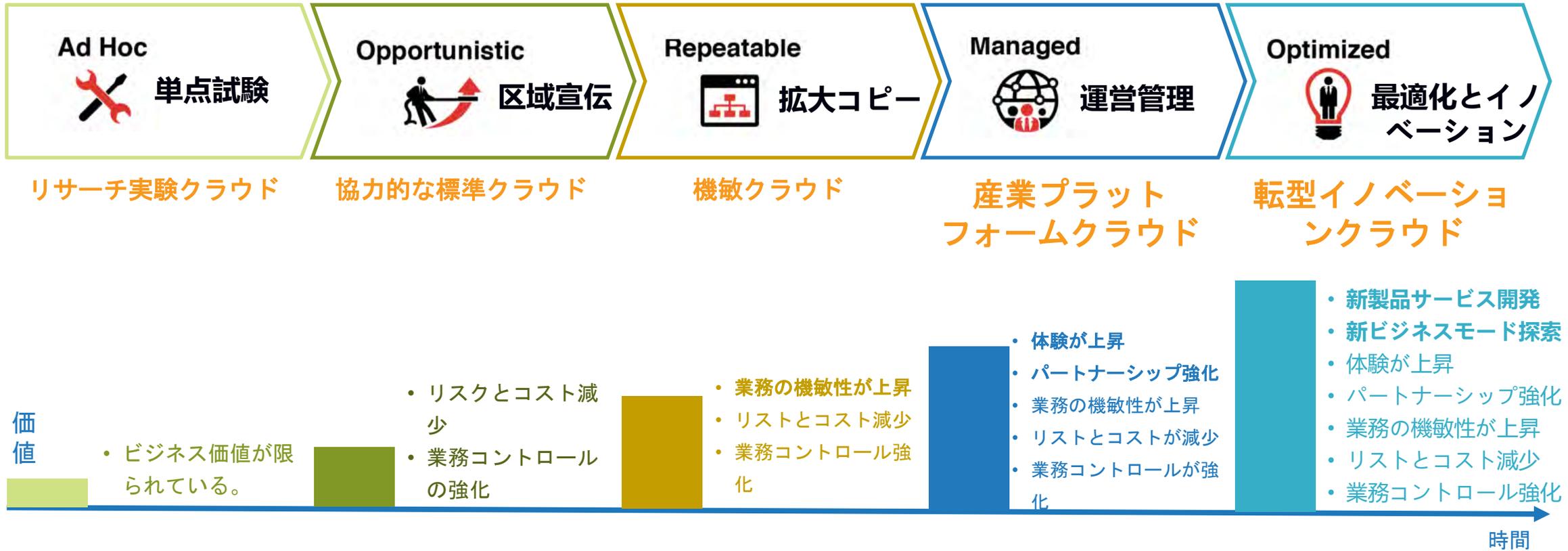


デジタル経済時代の5つの変化——技術の変化

デジタル化に影響を与える新しい技術が次々と現れ



技術変化その一：クラウド化アップグレードとプラットフォーム

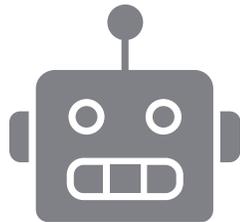


技術変化その二：場所問わずに存在する認知とAI



場所問わずに存在するAI

2019年までの**40%**のデジタル化にするプロジェクトはAIサービスを使用する。
2021年までには、商業企業の**75%**がAIを使い、**50%**を超えた消費者は顧客サービスロボットとの対話を行い、**90%**を超える新工業ロボットはAIの力を借りる。



個人デジタルアシスタントの影響が増大

2019年に、個人デジタルアシスタント(PDA)とロボットは**5%**の取引を実施するが、**20%**の取引業務に影響を与え、その技術を利用する機関がますます増えるだろう。



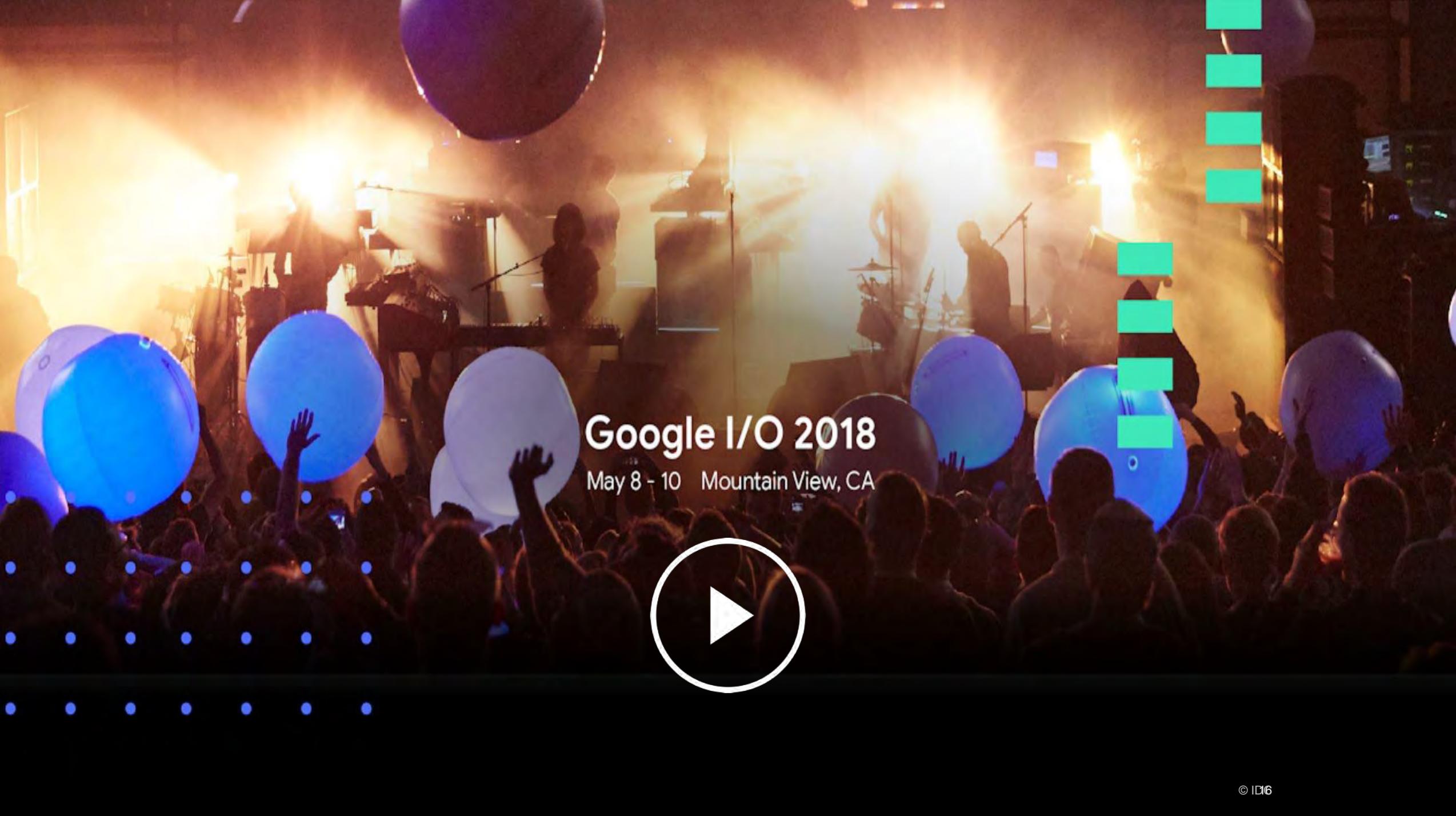
機械学習とAIがITインフラへの浸透は加速する

2021年までの**50%**の企業ITインフラストラクチャは、機械学習とAIを採用する。



IDC FutureScapes

IDC 2018予測



Google I/O 2018

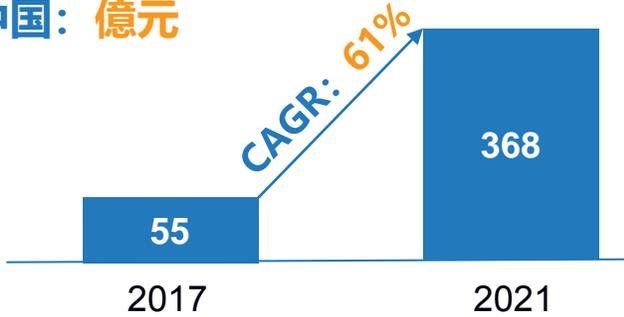
May 8 - 10 Mountain View, CA



技術変化その二：場所問わずに存在する認知とAI

チャンス？

中国：億元



グローバル：億ドル



トップユーザー？



銀行

17.5%



小売

16.6%



製造

10.7%



医療

8.8%

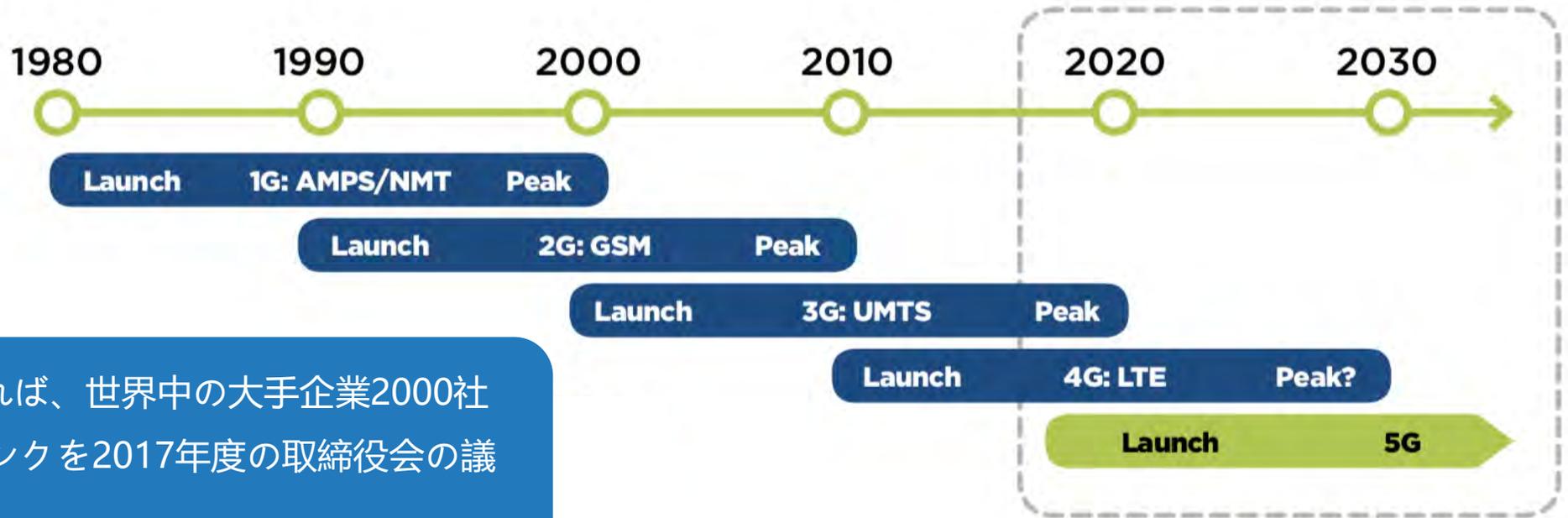
技術変化その三：ブロックチェーンは信用社会を再構築

- ✓ デジタル資産の権利を確定、転売と取引 
- ✓ 信頼と取引のコストを減らし 
- ✓ 記録の透明度と審査性を向上 
- ✓ 安全なバリューチェーンを構築 
- ✓ 複数の組織の間におけるトラフィックのプロセスを簡単に 



技術変化の四：IoTと5Gによる作り出す応用シーン

5G timeline



IDCの研究によれば、世界中の大手企業2000社の50%は5Gリンクを2017年度の取締役会の議題になった。

- 製品とサービスのデジタル化という前提
- リンクを通して、データを取得する手段
- 製品価値を掘り出すツール
- 管理コントロール実施のアプローチ
- ビジネスモデルをチェンジすることを基礎にする



超ブロードバンド体験
場所と時間を問わず利用できる



知能自動車と交通
自動ドライブ、インフラ、ネット自動車



メディア
ハイビジョンメディア、ニーズに合わせるコンテンツ



遠距離設備制御
機械、グリッド、手術、リアルタイム



人間—機械交互
AR/VR、ゲーム、ビデオ監視、视频监控、AI購買



クラウドAI
顧客サービス、Self healing process、Robotics

技術変化への対応策



企業に適するソリューションの組立
自社優位性、技術発展方向、ビジネスチャンス



企業バリューとブランドポジショニング
技術とサービスのポジション、産業チェーン、ユーザーポジション



最善の実践と応用シーンにおける経験の累積
ビジョン、戦略、プロジェクト、事例



政府：発展の新旧動力を転換する技術的なポジションを確定する



デジタル経済時代の5つの変化——競合変化

競合変化その一：新しい競争



招銀雲創
クラウドソーシングによるイノベーション・金融サービス



樹根互聯
工業ネットワークプラットフォーム



美雲智数
バリューチェーンクラウドサービス

競合変化その二：新しい提携

クラウドの発展はITメーカーと業界ユーザーの競合関係を再構築

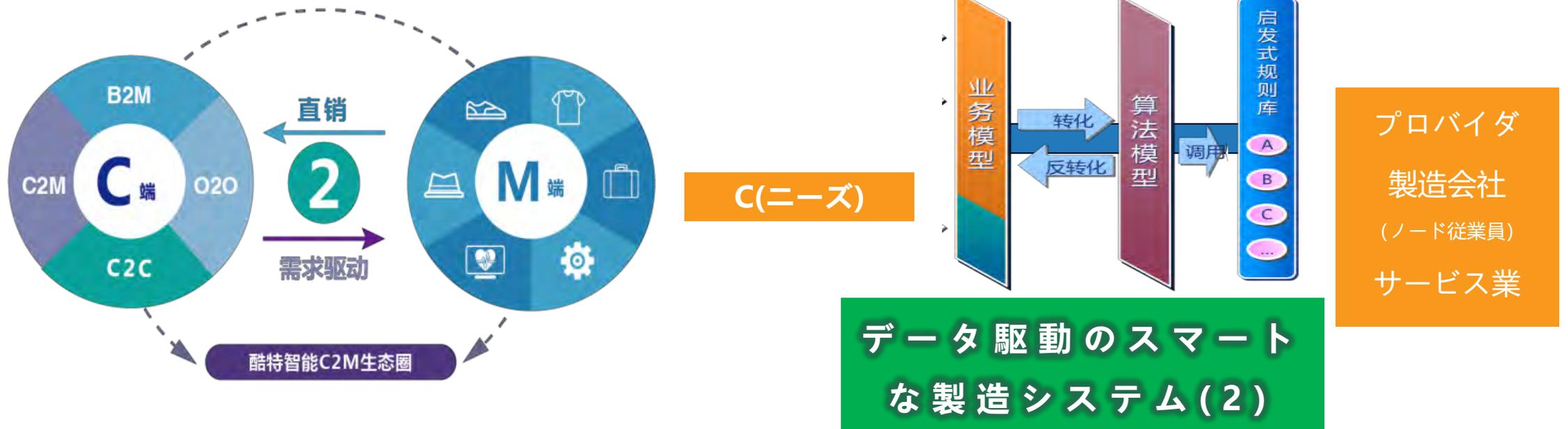


競合変化その三：新しいサービス

IDC予測によれば：

2020年には、世界の半分を超えた2000強のうち、**情報に基づく製品とサービス**の営業・収入の増幅は他の製品/サービスの2倍になるということである。

ゲッテジエネルギーの組織体系に支えられた
スマートな製造システム



6万の企業が見学し、現在、SDE工事では改造した30以上の産業80プロジェクト：服装靴帽子、仮髪、機械、電子、電気、自動化、自転車、オートバイ、自動車、自動車のパーツ、土建、家具、建築材料、戸窓、戸外用品、家居、フローア、食品、化粧品、ジュエリー、マイクロ、精密化学工業など...

競合変化その四：新秩序

クラウド融合/管理
プラットフォーム



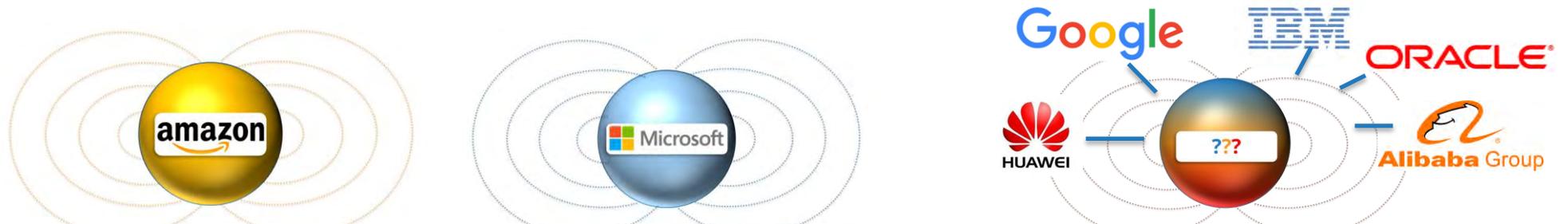
産業
プラットフォーム



アプリプラット
フォーム



ジャイアント
プラットフォーム



インフラ・プロバイダ

ネットワークサービスプロバイダ

競合変化への対応策



業務の新しい規則とユーザーの新役割を理解
情報ベースの製品とサービスが普及しつつ、ITはますます
主役となっている



エコシステムを構築あるいは参入
大手企業や大産業ユーザーはエコシステムを
構築すべき中小企業は参入すべき



境界線を描き優位性を強調する
競争優位性を創出し、新たな競争環境で新しい
パートナーを見つける



**政府：新しいICTエコシステムに支援する政策
を提供**



デジタル経済時代の5つの変化——ビジネス変化



Source: IDC, 2018

未来のビジネス：五つの典型的将来ビジネスモデル

IDCの予測によれば：2019までに、すべてのデジタル・トランスフォーメーション企業の少なくとも45%は、「未来ビジネス」のビジネスモデルの恩恵を受けるだそうである。

1

情報とデータの変化



SIEMENS

シーメンスはインターネットで発生した情報とデータを分析として顧客へ提供する

2

シェア経済モデル



TOGOカーシェアはもう既に北京、上海、広州、シンセン、成都、西安で運営

3

リスクと製品に基づく



Linkallは、デジタルマーケティングの成果と業績に基づいて、ユーザーの収入を分ける

4

エモーショナルプロダクトと価格設定



朝陽ジョイシティはLBSとユーザーポイントを通じてプッシュ通知で製品と割引情報を知らせ

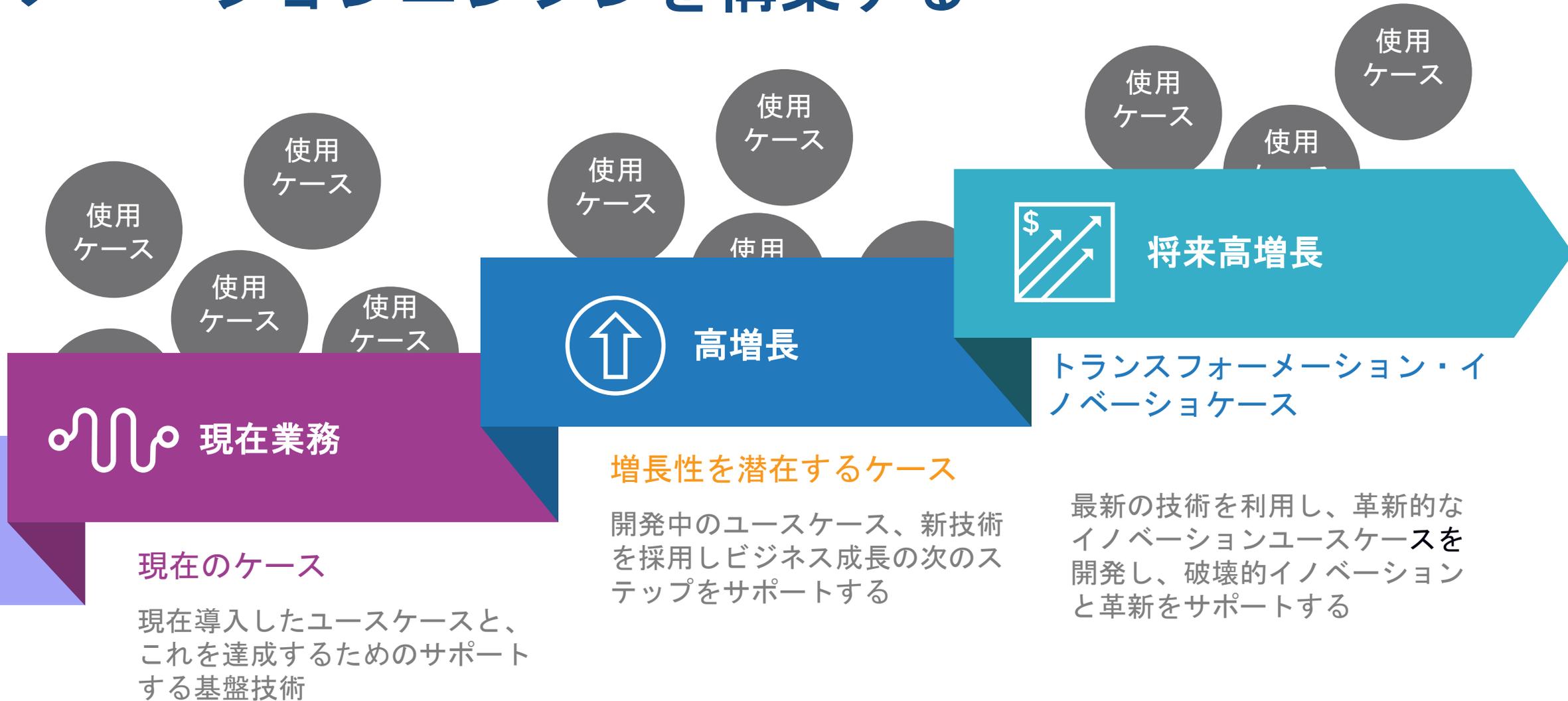
5

プラットフォームベースの収益モデル



Mapalは、高精度金型産業の需給に対応するために、プラットフォームを通じてサプライヤーと顧客を結びつ

ユースケースを開発することによって将来のビジネスイノベーションエンジンを構築する



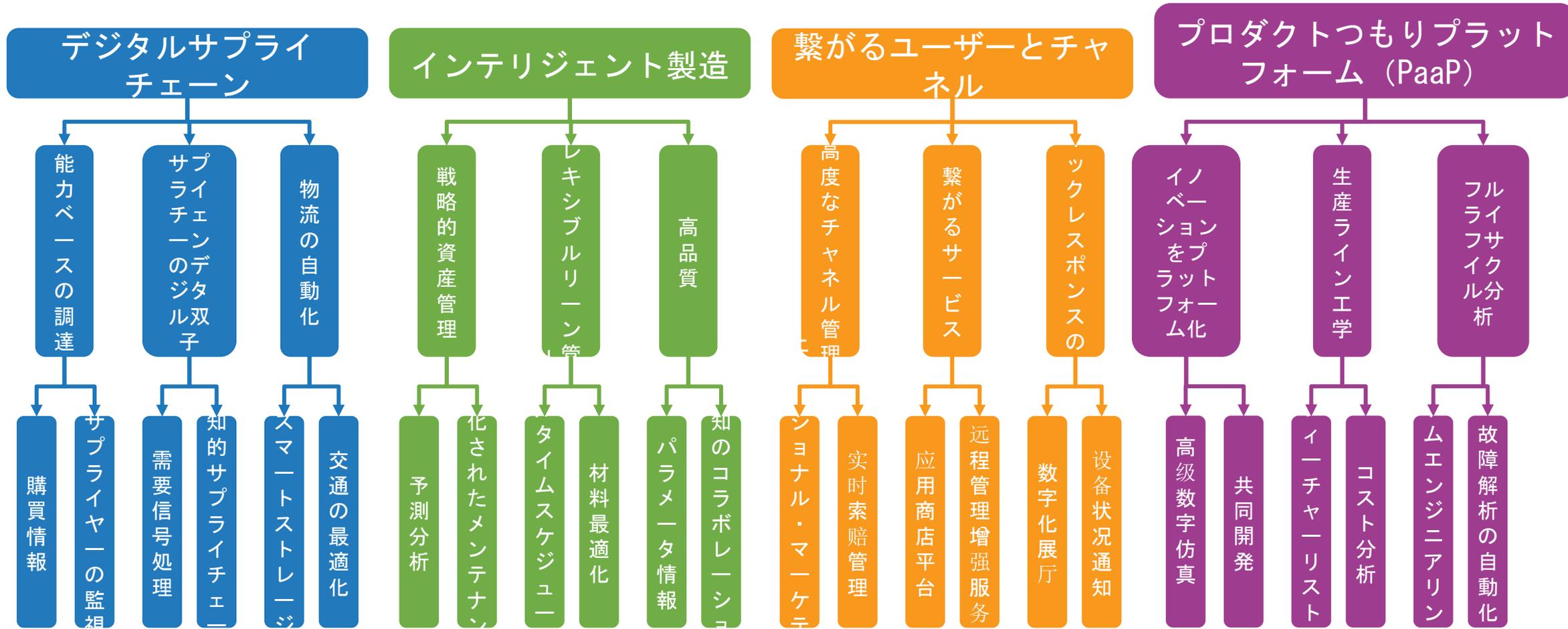
エンジニアリング向けの製造業のデジタル化転換フレームワー使用ケース

デジタル化の使命: 優れた体験できるエコシステムを創出する

戦略

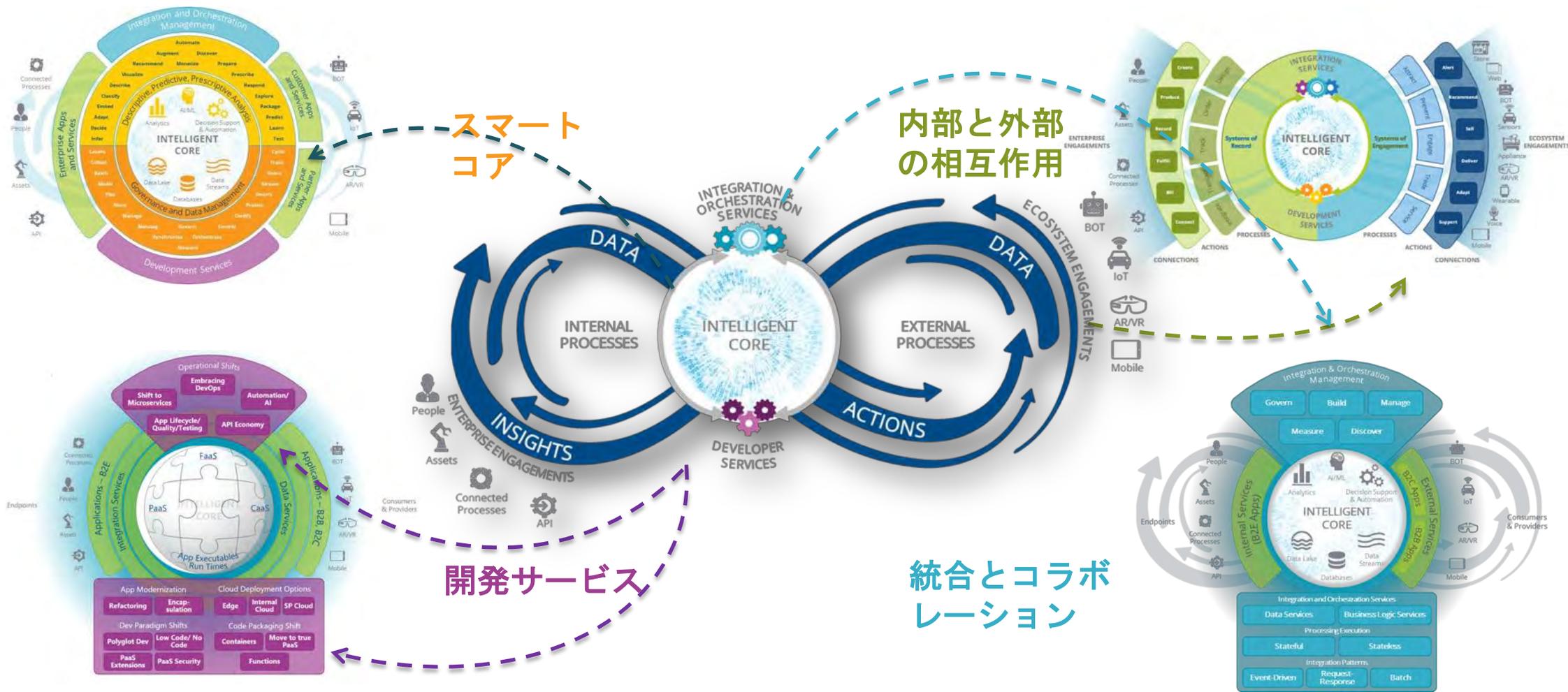
長期プロジェクト

事例



Source: IDC's Worldwide Digital Transformation Use Case Taxonomy, 2017: Engineering-Oriented Value Chains in the Manufacturing Industry

未来ビジネスをサポートするデジタル化転換プラットフォームフォームの構築



ビジネス変化への対応策



業界知識を蓄積

業界の発展方向、業務ニーズ、業務等



イノベーションアプリ作成

ビジョン、戦略、プロジェクト、事例



新しい収益モデルの展開

情報とデータに基づく製品とサービス、リスクと生産の利益モデルに基づく未来ビジネスの5つの利益モード



政府：業界のユーザとICTメーカーとの連携を推奨



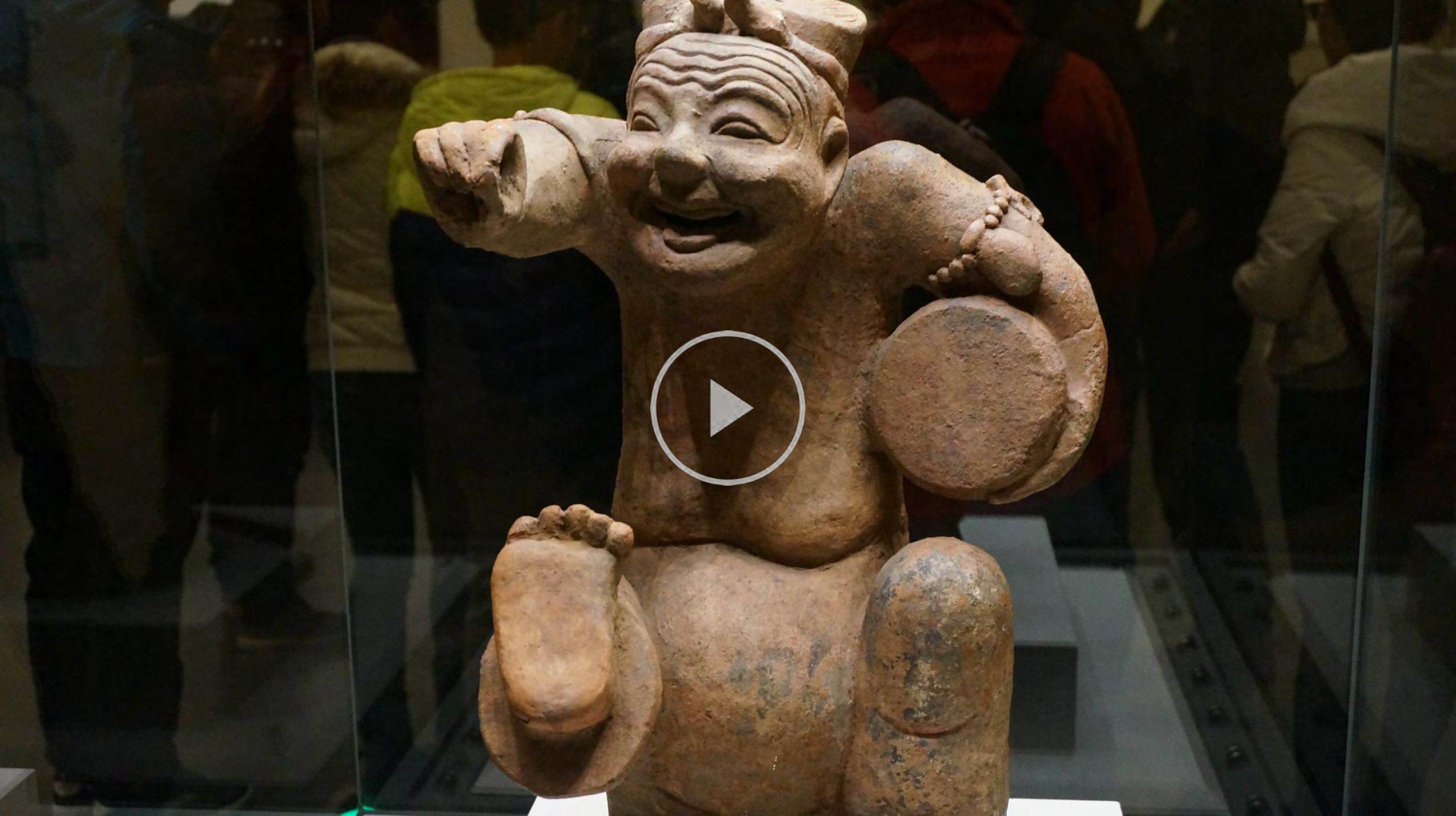
デジタル経済時代の5つの変化——ユーザー変化

Source: IDC, 2018

ユーザの変化はデジタルネイティブの世代の特徴とニーズを反映する



- Rapid access to information from multiple sources
複数のソースからの情報アクセス
- Multi-tasking
複数タスク
- Multi-media over text
マルチメディアが好きだ
- Random access to information
ランダムアクセス情報
- Networked interactions with multiple people
ネットワークとインタラクティブ
- Just-in-time learning
即時に学ぶ
- Immediate rewards
リアルタイム応答と承認
- Relevant, useful, fun learning
関連知識、役に立つ、楽しく学習



将来の仕事はデジタルネイティブ世代のニーズを満たすための基礎である

将来の仕事は総合的な戦略であり、デジタル化技術、態度、行動を使い企業と社員、パートナーと顧客との協力方法を再建し、効率を高め優れた体験を提供し提競争優位を持続的に獲得

将来のワークスペースではいつでもどこでも仕事でき、物理空間と仮想空間を混在しており、常にセキュリティとコンプライアンスを確保する



将来の仕事文化には限界無し、協力とイノベーションに注目する。仕事文化は企業の重要な競争力となる。

将来の従業員はますます分散協調作業になりつつ、人とスマートマシンが共同作業になる。

ユーザー変化の対応策



デジタル・ネイティブ・ジェネレーションの特性とニーズを深く理解する

製品ニーズ、サービスニーズ、情報ニーズ、コミュニケーションニーズ等



テクノロジーで将来の仕事に力を入れる

将来の仕事文化、将来のワークスペース、将来の従業員



デジタルネイティブの世代に適応する製品とサービスを開発し、デジタルマーケティングを活用する

インテリジェント化、デジタル化、サービス化、パーソナライズ化



政府：新しいスマートシティの建設を加速させる



まとめ



政策変化

▶ 技術リーダーシップ、バーチャルとリアルを組み合わせる、対外開放、制御可能、人材を大事にする



技術変化

▶ クラウドのアップグレードとプラットフォーム、認知とAIはどこでもあり、ブロックチェーンのクレジット・ソサエティ再建、IoTと5Gのインターネットは新たなアプリケーションシナリオを生み出す



競合変化

▶ 新競争、新協力、ニューサービス、新秩序



ビジネス変化

▶ 未来のビジネス：5種類典型的な未来ビジネスモデル



ユーザー変化

▶ デジタルネイティブの世代、未来将来の仕事文化、将来のワークスペース、将来の従業員

アクションガイド



夢が大きく - 目標の優位性

早いスピードでイテレーション
- 先手勝

着実にスタート
- 優勢性に焦点を絞る

Thank you!

武 連峰

IDC中国—副総裁兼首席アナリスト

lwu@idc.com

